

2007年度 第1四半期 決算説明会

2007年8月8日
日本新薬株式会社
執行役員 経営企画部長
福島和夫



業績の状況 (連結)

(百万円)

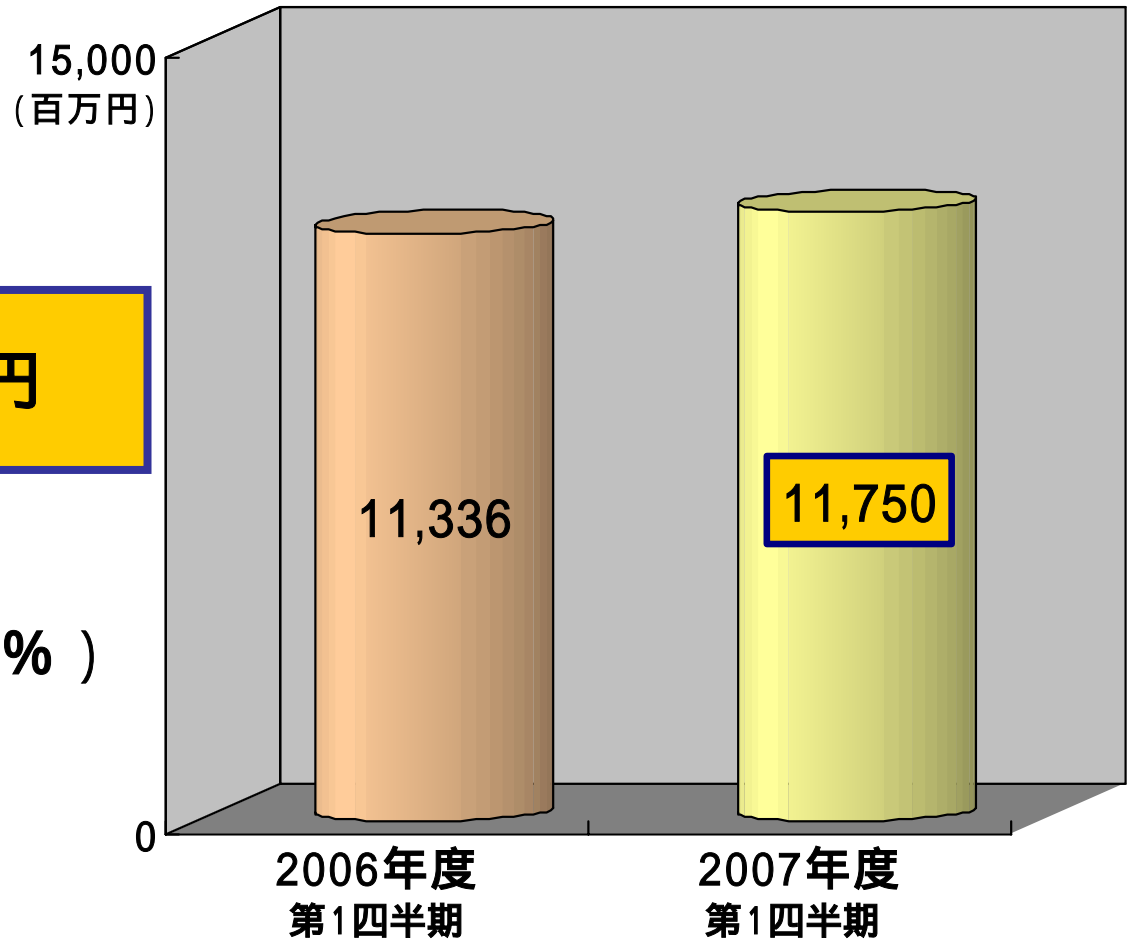
	2006年度		2007年度			
	第1四半期実績		第1四半期実績		対前年同四半期比	
		売上比		売上比	増減	増減率
売上高	13,873	100.0%	14,254	100.0%	381	2.7%
営業利益	1,176	8.5%	1,515	10.6%	339	28.9%
経常利益	1,297	9.4%	1,864	13.1%	567	43.7%
当期純利益	680	4.9%	1,024	7.2%	344	50.7%



部門別業績推移 医薬品

実績 11,750百万円

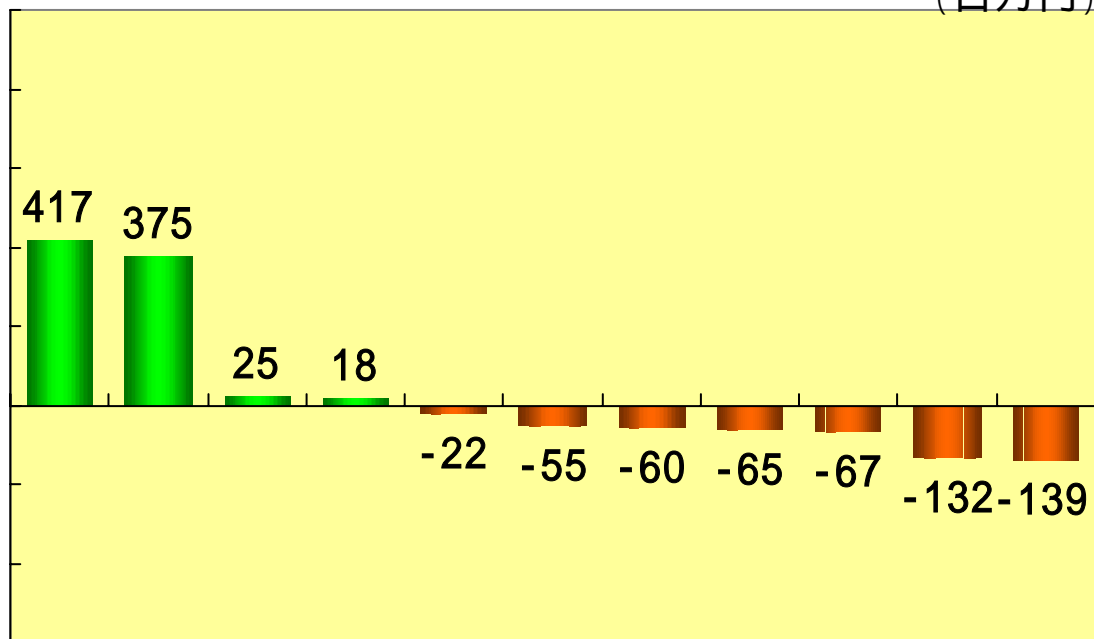
対前年同四半期比
+ 414百万円(+ 3.7 %)





主力品目 売上高増減

(百万円)



- ・ハイペン(28.3% up)
(非ステロイド性鎮痛・抗炎症剤)
- ・アズノールうがい液(6.4% up)
(アズレン含嗽液)

等の伸長

- ・エビプロスタット(8.8% down)
(前立腺肥大症治療剤)
- ・ブラダロン類(12.1% down)
(頻尿治療剤)
- ・レフトーゼ類(11.4% down)
(出血抑制消炎酵素剤)

等の減少

- ・バイナス
(アレルギー性鼻炎治療剤)

の寄与

バイナス
ハイペン
アズノールうがい液
グリコラン
オドリック
オークル
セレクトール
リボスチン点眼液
レフトーゼ類
ブラダロン類
エビプロスタット



医薬品売上の内訳

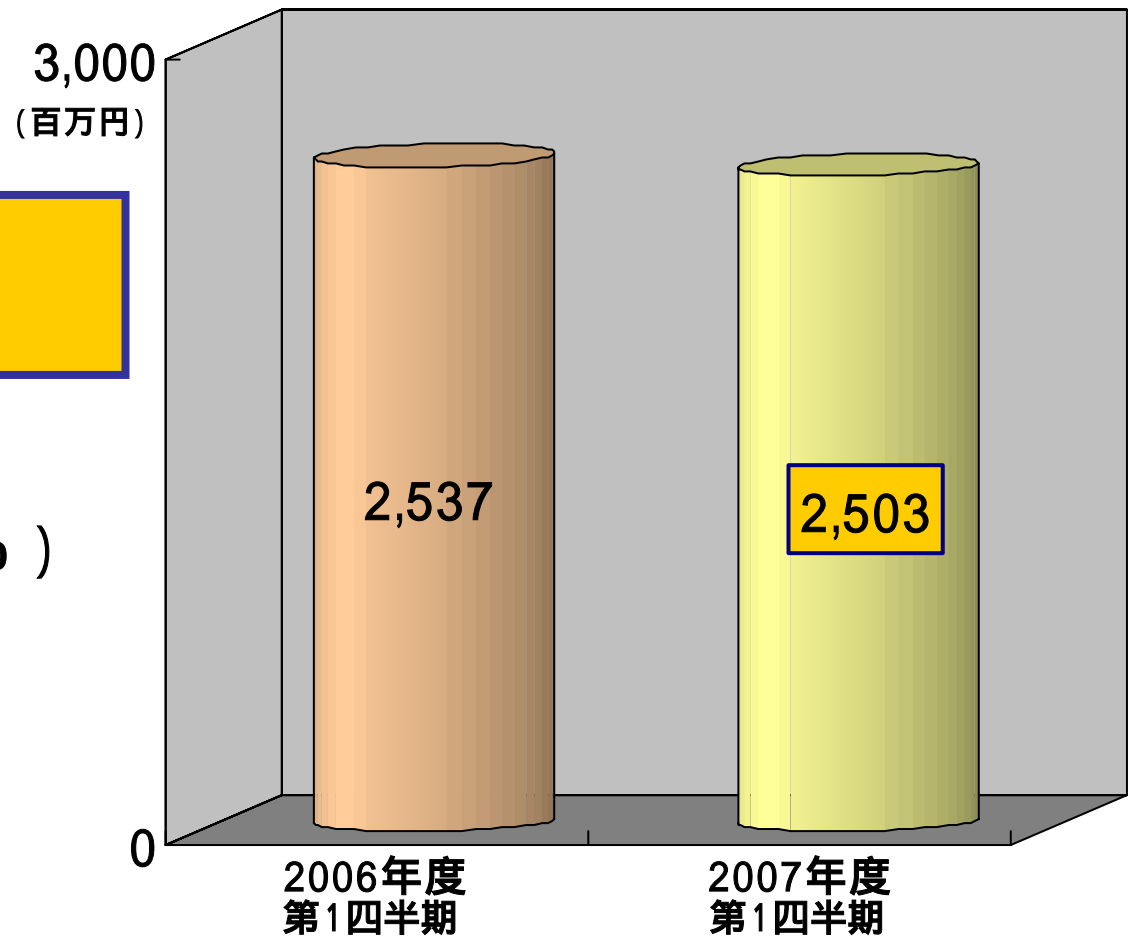
(百万円)

	2006年度		2007年度			
	第1四半期実績		第1四半期実績	対前年同四半期比		
		売上比		売上比	増減	増減率
医薬品	10,993	97.0%	11,257	95.8%	264	2.4%
工業所有権等収益	57	0.5%	18	0.2%	39	68.4%
フルリフロキサシン原薬	259	2.3%	440	3.7%	181	69.9%
受託製造	27	0.2%	35	0.3%	8	29.6%
医薬品合計	11,336	100.0%	11,750	100.0%	414	3.7%

部門別業績推移 機能食品

実績 2,503百万円

対前年同四半期比
34百万円(1.3 %)





機能食品売上の内訳

(百万円)

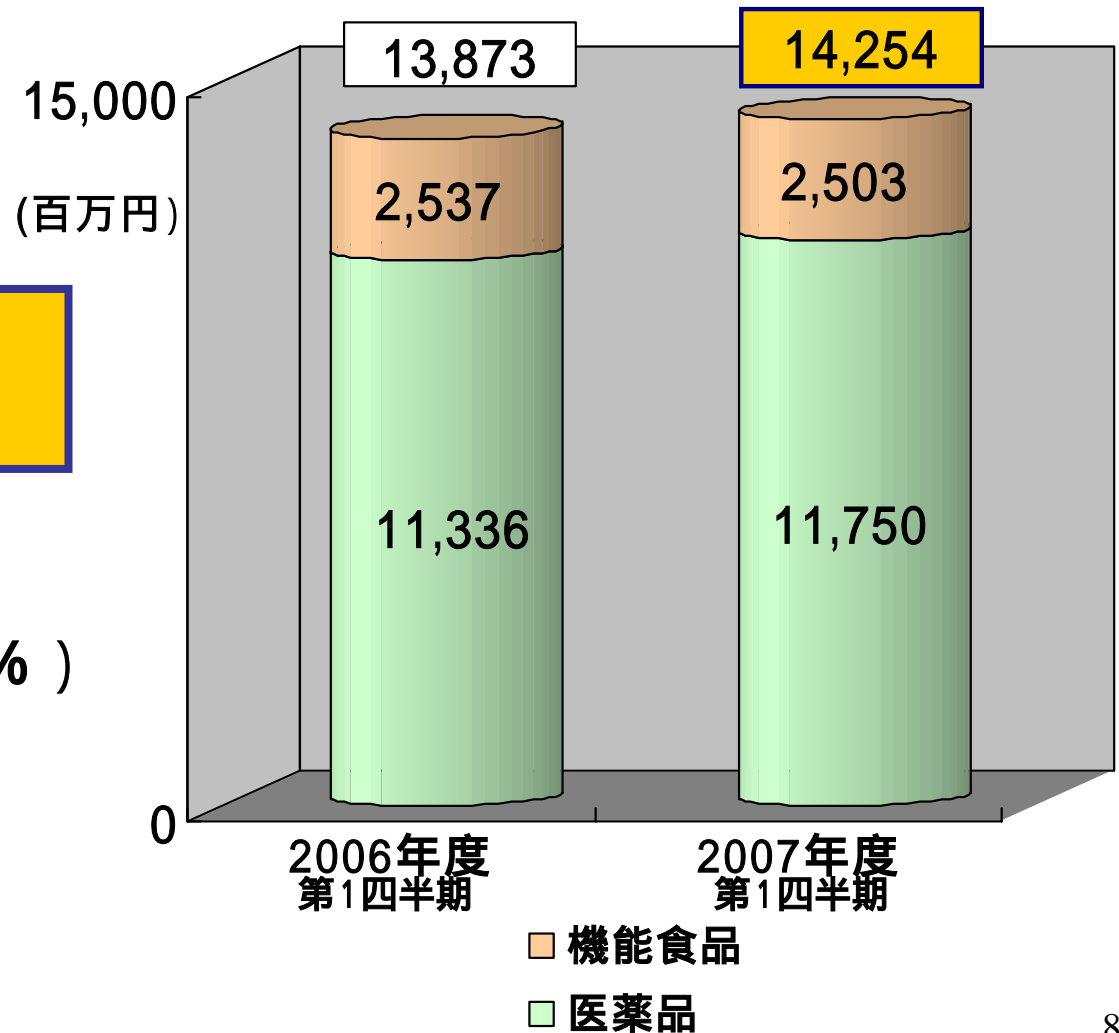
	2006年度		2007年度			
	第1四半期実績		第1四半期実績	対前年同四半期比		
		売上比		売上比	増減	増減率
調味・香辛料	131	5.2%	139	5.6%	8	6.1%
健康食品素材	180	7.1%	161	6.4%	19	10.6%
品質安定保存剤	347	13.7%	341	13.6%	6	1.7%
たん白製剤	1,599	63.0%	1,590	63.5%	9	0.6%
除菌・洗浄剤	90	3.5%	97	3.9%	7	7.8%
小麦製品	39	1.5%	28	1.1%	11	28.2%
その他	151	6.0%	147	5.9%	4	2.6%
機能食品合計	2,537	100.0%	2,503	100.0%	34	1.3%

業績推移(連結) 売上高

実績 14,254百万円

対前年同四半期比

+ 381百万円(+ 2.7%)





業績の状況 (連結)

(百万円)

	2006年度		2007年度			
	第1四半期実績		第1四半期実績		対前年同四半期比	
		売上比		売上比	増減	増減率
営業収益						
売上高	13,873	100.0%	14,254	100.0%	381	2.7%
(医薬品)	(11,336)	(81.7%)	(11,750)	(82.4%)	(414)	(3.7%)
(機能食品)	(2,537)	(18.3%)	(2,503)	(17.6%)	(34)	(1.3%)
営業費用	12,697	91.5%	12,738	89.4%	41	0.3%
売上原価	6,100	44.0%	6,561	46.0%	461	
返品引当金繰入額	-4	0.1%	3	0.0%	7	
販売費及び一般管理費	4,436	32.0%	4,409	30.9%	27	
研究開発費	2,164	15.6%	1,763	12.4%	401	
営業利益	1,176	8.5%	1,515	10.6%	339	28.9%

営業利益：販売費及び一般管理費、研究開発費の減少等により増益



業績の状況 (連結)

(百万円)

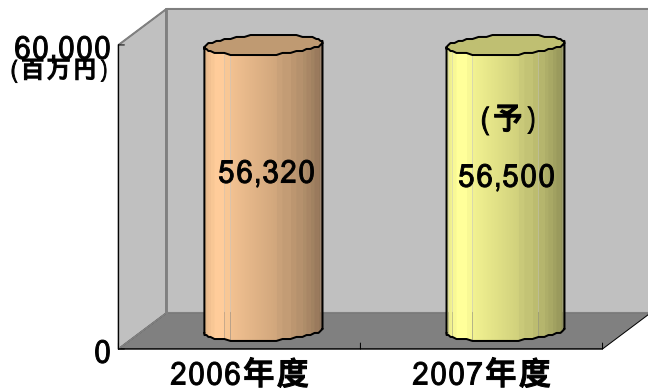
	2006年度		2007年度			
	第1四半期実績		第1四半期実績		対前年同四半期比	
		売上比		売上比	増減	増減率
営業利益	1,176	8.5%	1,515	10.6%	339	28.9%
営業外収益	232	1.7%	468	3.3%	236	101.1%
営業外費用	111	0.8%	119	0.8%	8	7.2%
経常利益	1,297	9.4%	1,864	13.1%	567	43.7%
当期純利益	680	4.9%	1,024	7.2%	344	50.7%

経常利益・当期純利益 : 営業利益、営業外利益の増加により増益

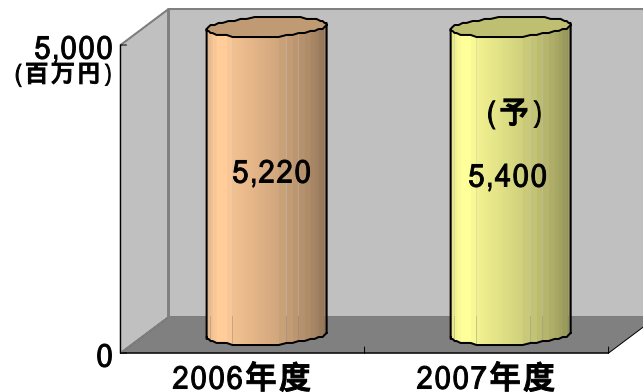


通期業績予想 (連結)

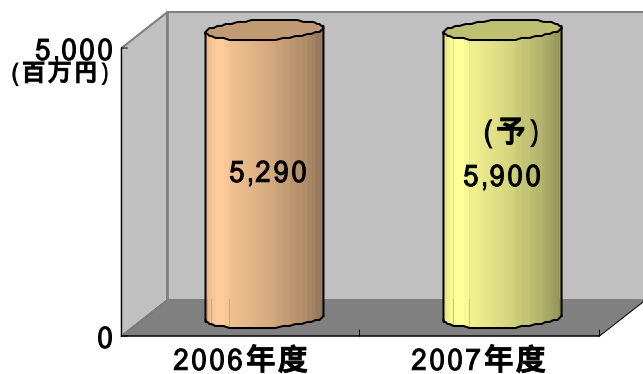
売上高 + 0.3 %



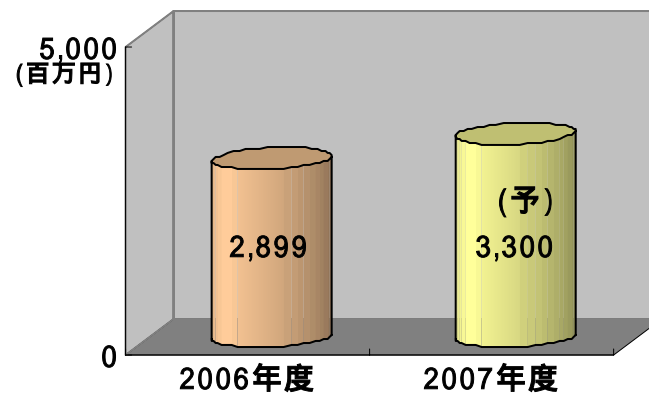
営業利益 + 3.4 %



経常利益 + 11.5 %



当期純利益 + 13.8 %



研究開発品目の進捗状況



新製品開発状況(国内)

開発品目	申請区分	適応症等		開発状況	2005	2006	2007	2008年度
NS - 126 (導入)	新成分	吸入 ステロイド 剤	鼻炎	申請中	→ 申請			
			喘息	P	→			
IKH - 01 (ルナベル) (導入)	新医療用 配合剤	月経困難症		申請中	ノベルファーマ → 申請			
NS - 315 (塩酸トラマドール) (導入)	新投与経路	癌性疼痛		P	→			申請予定
NS - 11 (アカンプロセート) (導入)	新成分	アルコール依存症		P	→			
NS - 17 (アザシチジン) (導入)	新成分	骨髄異形成症候群		P 準備中	→			

新製品開発状況(海外)

開発品目	申請区分	適応症	開発状況	2005	2006	2007	2008年度
NM441 (自社)	新成分	合成抗菌剤	韓国 申請中	柳韓洋行社 → 申請			
			US P		Optimer → 申請予定		
NS-304 (自社)	新成分	肺高血圧症	EU P 準備中			→	
NS-187 (自社)	新成分	慢性骨髄性 白血病	US/EU P		Innovive → 申請予定		

NS-17 (アザシチジン・Vidaza)

- 骨髄異形成症候群治療剤 -

開発段階: P 試験準備中

開発会社: ファーミオン社(米)より導入
米国 2004/07 発売

適応症: 骨髄異形成症候群(MDS)

成分: アザシチジン

剤型: 凍結乾燥粉末/バイアル

(用時溶解、皮下・静脈内注射)

特徴: ・ DNA脱メチル化作用による正常分化
増殖誘導

・ Low ~ High Risk MDS に有効

・ MDS治療の第一選択薬(米国)



IKH - 01 (ルナベル)

- 月経困難症治療剤 -

開発段階: 2006/10 申請

開発会社: ノーベルファーマ(株)
(2007/07 販売提携契約)

適応症: 月経困難症(子宮内膜症に伴うもの)

成分: 黄体ホルモン(ノルエチステロン)・卵胞ホルモン(エチニル
エストラジオール)配合剤

剤型: 錠剤(1日1錠21日間投与、7日間休薬)

特徴:

- ・低用量ピル(一相性)
- ・欧米では月経困難症の第一選択薬
- ・国内低用量ピルでは唯一の適応症
(他剤は全て「避妊」)